

日本福祉介護情報学会ニュース

2013年度第1号

2013年7月8日

発行：日本福祉介護情報学会

(<http://jissi.jp>)

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部
森本研究室内 info@jissi.jp

【目次】

1.	これからの学会活動について		1
2.	2013年度学習会のご案内		2
3.	第14回研究大会のご案内		2
4.	2013年度事業計画・予算		2
5.	ホームページのリニューアルについて		5
6.	学会紀要「福祉情報研究」について		5
7.	事務局から		6
	(編集後記)		6

1. これからの学会活動について

代表理事

高橋 紘士

関東でははやくも梅雨が明け、猛暑日が続いていますが、会員の皆さま方にはお元氣でご活躍のことと存じます。

さて、日本福祉介護情報学会の諸活動が何かと滞っており、皆さまにご迷惑をおかけしていることを、深くお詫び申し上げます。

学会活動は、基本的には会員が一丸となってお互いに協力しながら進めていくものですが、その決定と執行を委任されている理事が、数年前からそれぞれ所属している本務で多忙になっており、なかなか学会の事務に専念できない状況が生じていることが、その背景にあります。そこで、滞っている事業を出来る限り早く完了し平常の体制に戻れるように、今年度第1回の理事会で理事の役割分担を見直しました。

つきましては、新しい体制の下で、着実な事業執行をしてまいりますので、今後のご協力をお願いする次第です。

2. 2013 年度学習会のご案内

理事・学習会担当

前田 みゆき (株式会社日立製作所)

2013 年 5 月 24 日、国民一人一人に固有の番号を割り当てて、社会保障や税を一体的に管理できるようにする「共通番号 (マイナンバー) 法」が可決されました。

「社会保障と税の一体改革」に向けて、情報連携基盤を構築し、国と自治体のシステムを連携させ、行政サービスでの添付書類を不要にしたり、個人が利用可能な行政サービスをプッシュ型で案内したりすることが可能となります。

今回は行政サービスでの利用に限定されていますが、将来的には、医療・介護などの民間利用への期待も高まっています。

そこで、今回の勉強会は、この社会保障・税の番号制度をテーマに企画しました。

まさに、今が旬の番号制度を、社会保障制度改革国民会議の内容、番号法の概要、社会保障分野へのインパクトなどの観点で、厚生労働省 政策統括官の唐澤剛氏を講師にお迎えし、わかりやすく解説していただきます。

会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

【テーマ】「社会保障・税の番号制度について」

【日 時】2013 年 9 月 7 日 (土) 15:00～16:45

【会 場】立教大学池袋キャンパス 11 号館 2 階 A203 教室

【タイトル】「社会保障制度改革国民会議の報告と番号制度の社会保障分野へのインパクト」(仮)

【講 師】厚生労働省 政策統括官 (社会保障担当) 唐澤剛 氏

3. 第 14 回研究大会のご案内

理事・事務局

森本 佳樹 (立教大学)

今年度の学会大会の日程、会場、テーマ (案) が以下のように決まりましたので、ご予定いただきたくお願い申し上げます。なお、開催要綱などの詳細については、9 月頃にお伝えできる予定です。

【日 時】12 月 1 日 (日) 10:00～17:30

【会 場】立教大学池袋キャンパス 14 号館

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

【テーマ】(案) : 地域包括ケアにおける情報連携を考える

～当事者意識を高めるための情報のあり方に焦点をあてて～

4 2013 年度事業計画・予算

理事・事務局

森本 佳樹 (立教大学)

2013 年 3 月 16 日 (土) に開かれた 2012 年度第 4 回理事会で、2013 年度の事業計画・

予算が承認されたので、ご報告します。

今年度からの新規事業として、会員の研究・実践を支援するために「研究・実践企画奨励助成金」を創設します。詳細は目下検討中で、9月頃に募集開始予定です。

日本福祉介護情報学会 2013 年度事業計画 (案)

(★は新規事業)

1 学会の運営

(1) 会員総会の開催

年に1度、会員総会を実施する(第12回研究大会開催時)

(2) 理事会の開催

学会の運営を図るため、年に4回程度理事会を開催する

(3) 各種委員会活動の充実

学会の活動の基盤となる各種委員会活動の充実を図る

① 『福祉情報研究』編集委員会の充実

② ホームページ委員会の充実

③ ニュースレター編集委員会の充実

④ 「学習会」企画委員会の充実

(4) ① 人材と財源を安定確保し、活発な活動を保障するために、会員数の増加を図る

(5) 理事会・事務局機能の充実

① 理事の役割を明確化し、機能の充実をはかる

② 会員ニーズに即応できる事務局体制を整備する

2 研究活動の推進

(1) 研究大会の開催

立教大学を会場として第14回研究大会を開催する

(2) 学習会の開催

時宜を得たテーマの下に、適宜、学習会を開催する

(3) 学会紀要『福祉情報研究』の発行

① 第12回・13回研究大会の内容をもとに第10号(2012年度号)を発行する

★ ② 紀要編集体制の強化策を検討する

★ (4) 東日本大震災にともなう学会プロジェクト報告書の作成

★ (5) 「研究企画奨励助成制度」(仮称)の創設

3 広報活動の推進

(1) ホームページの安定的運営

① ホームページの機能の拡張を図り、安定した運営を行なう

適宜、新しい情報の更新を行う/関連ホームページとのリンクを積極的に行う等

② 会員専用ページのあり方に関する検討

③ ホームページ委員会の定期的開催

(2) ニュースレターの発行:年3回(7月頃、10月頃、2月頃)を予定

4 他学会・研究団体との連携

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本医療情報学会等との連携を図る

2013年3月16日理事会提出				2013年3月14日
	日本福祉介護情報学会2013年度予算(案)			
				自 2013.04.01 ~ 至 2014.03.31
《収入の部》				(単位:円)
項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 入会金収入	40,000	40,000	0	
1-1 正会員	30,000	30,000	0	@3,000×10人
1-2 学生会員	10,000	10,000	0	@2,000×5人
1-3 法人会員	0	0	0	項目存置(@100,000)
1-4 賛助会員	0	0	0	項目存置(@3,000)
2 会費収入	585,000	585,000	0	
2-1 正会員	540,000	540,000	0	@6,000×90人
2-2 学生会員	45,000	45,000	0	@3,000×15人
2-3 法人会員	0	0	0	項目存置(@100,000)
2-4 賛助会員	0	0	0	項目存置(@30,000)
3 参加費収入	50,000	60,000	△ 10,000	
3-1 参加費収入	50,000	60,000	△ 10,000	研究会等@2,000×25人
4 雑収入	5,000	7,000	△ 2,000	
4-1 雑収入	5,000	7,000	△ 2,000	預金利子等
5 繰越金	4,039,000	4,599,000	△ 560,000	2012年度決算見込額
5-1 基本財産繰越金収入	1,239,000	1,199,000	40,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,800,000	3,400,000	△ 600,000	
合計	4,719,000	5,291,000	△ 572,000	
《支出の部》				
項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 事業費	1,470,000	2,100,000	△ 630,000	
1-1 理事会開催費	250,000	350,000	△ 100,000	3回分(×3人)旅費等 実勢減
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	開催校助成
1-3 委員会費	100,000	650,000	△ 550,000	研究活動費用(震災縮小、他研究会)
1-4 紀要発行費	300,000	200,000	100,000	通常号+臨時号(岩手大会)
1-5 学習会開催費	70,000	100,000	△ 30,000	謝礼・資料印刷等
1-6 広報活動費	100,000	450,000	△ 350,000	広報活動費用
1-7 研究助成費	300,000	0	300,000	1件10万円×3件を見込む
2 事務費	190,000	240,000	△ 50,000	
2-1 什器・備品費	20,000	20,000	0	事務用品等
2-2 印刷費	50,000	50,000	0	学会案内作成
2-3 通信費	110,000	150,000	△ 40,000	ニュースレター・郵送
2-4 事務補助員費	10,000	20,000	△ 10,000	学生バイト費
3 繰越金	1,279,000	1,239,000	40,000	
3-1 基本財産繰越金	1,279,000	1,239,000	40,000	入会金及び入会金繰越充当
3-2 次年度繰越金	0	0	0	(決算処理科目)
4 予備費	1,780,000	1,712,000	68,000	
合計	4,719,000	5,291,000	△ 572,000	

5 ホームページのリニューアルについて

理事・ホームページ委員会
村井 祐一（田園調布学園大学）

2012年12月にリニューアルを予定していた学会ホームページでしたが、契約作業に時間がかかってしまい、正式公開が遅れております。7月中には正式稼働のお知らせを皆様に通知できるように作業を進めております。

ホームページリニューアル後の詳細なサービス内容については正式公開後にご案内いたしますが、会員専用ページが大幅に充実する予定です。会員相互の研究交流プラットフォームになれるように頑張りたいと思います。

なお、新ホームページも従来のドメイン名と変更はございませんので、これまで通り (<http://www.jissi.jp>) でアクセスできます。

皆様のホームページ委員会に対するご意見・ご要望、そして委員会への参加をお待ちしております。

6 学会紀要「福祉情報研究」について

理事・学会誌編集委員会
生田 正幸（関西学院大学）

刊行が大幅に遅れ、執筆者各位はもちろんこと、査読をご担当いただいた方々、会員の皆様に、たいへんご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫びいたします。

(1) 第8・9号合併号

2010年12月に関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催された第11回研究大会におけるシンポジウム「福祉・介護の実践としての情報の活用 ―高齢者介護サービスの効率化と安定化―」と、2011年12月に田園調布学園大学で開催された第12回研究大会におけるシンポジウム「3.11 何が起こったのか ―情報の混乱と活用を検証する―」の記録を中心に合併号として刊行します。7月にはお届けできる予定です。恐れ入りますが、今、しばらくお待ちください。

(2) 第10号原稿募集

次号掲載の原稿を募集中です。

学会大会において自由研究発表を行われた方については、発表を編集委員が審査することで一次査読として取り扱っています。この査読結果については、お問い合わせに応じてお知らせしておりますので、対象となる方は、編集事務局までお問い合わせください。

一般投稿原稿についても、ご投稿をお待ちしております。

(3) 編集・刊行体制について

編集担当である生田の多忙と不手際のため、学会紀要の刊行が大幅に遅延し、執筆者各位はもちろんこと、査読をご担当いただいた方々、会員の皆様に、たいへんご迷惑をおかけしておりますことを重ねてお詫びいたします。この度、編集・刊行体制を一新することとなりましたので、ご報告申し上げますと共に、会員の皆様の更なるご支援をお願いいたします。

7 事務局から

理事・事務局

須永 誠（東京都社会福祉協議会）

ニュースレター本号に同封して、本年度会費等の請求書類をお送りいたしました。

巻頭に代表理事が記しておりますように、昨年度は、学会費の再請求書類をお送りする機会がありませんでしたので、今回の請求書類では、複数年度分の請求になっている会員が少なからずおられますが、早めのご入金をお願いいたします。

なお、これに伴って「領収書」が必要な方は、学会事務局あてにメールでご一報ください。今回の送付先あてに郵送いたします。

また、年度末・年度初めで、ご所属等に変更が生じている会員におかれては、事務局あてにお早めにお知らせください。

(2) 会員加入状況（2013年5月末日現在）

正会員 112 名 / 学生会員 18 名 / 名誉会員 1 名

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

(編集後記)

本年度第1号をお届けします。本ニュースレターの冒頭にある代表理事の高橋紘士の挨拶にあるように、この2～3年、学会活動、とくに事務的な処理において遅滞していることを、事務局としてもお詫び申し上げます。こうした遅延を取り戻すために、新たな体制のもとで、一つずつ事業を執行して参りたいと思いますので、会員諸氏のご協力・ご理解をいただければ幸いです。

なお、学会としての基本的な活動である学習会、研究大会につきましては、今年度の日程が決まりました。学習会の内容については、このニュースレターに同封しているチラシもご参照してください。また、研究大会の詳細については、9月頃にお知らせできると思います。

また、東日本大震災に関する学会プロジェクトのヒアリング調査結果につきましては、目下、報告書をまとめている途中で、これも急いで対応していきたいと考えています。

理事・事務局

森本 佳樹（立教大学）